

緊急消防援助隊情報

栃木県足利市林野火災における消防機関の活動について

総務省消防庁広域応援室

1. はじめに



両崖山及び天狗山全景（横浜市消防局提供）

令和3年2月21日、栃木県足利市の両崖山山頂付近の山林から出火した火災は、強風注意報が発表された23日以降、両崖山と隣り合う天狗山を含めた広範囲な山林に、急激に延焼拡大しました。

この状況を受け、地元である足利市消防本部に加えて、県内外の消防からの部隊増強や、自衛隊による災害派遣が行われ、地上消火隊と空中消火隊による連携した消火活動が行われました。

その結果、最終的に私有林約167haを焼損したものの、人的被害、住居被害は発生しませんでした。火災の原因調査を行った足利市消防本部によると、出火箇所は両崖山から天狗山に通じるハイキングコース途中の休憩所付近であり、出火当日、たばこを吸うハイカーが目撃されていることや、調査の際に、たばこの吸い殻が確認されたことから、たばこの不始末によるものと推定されています。

本稿では、この足利市林野火災において、懸命な活動にあたった消防機関の活動をご紹介します。

2. 災害概要

(1) 出火場所

栃木県足利市西宮町3820番地

両崖山山頂 南西約200m付近山林

(2) 主な時間経過

出火 令和3年2月21日 15時20分頃

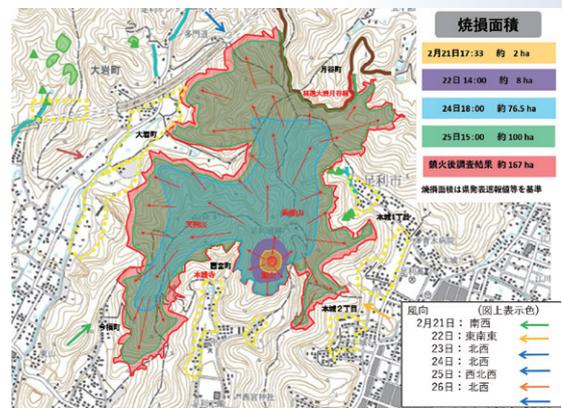
覚知 令和3年2月21日 15時36分頃

鎮圧 令和3年3月1日 16時00分

鎮火 令和3年3月15日 15時00分

(3) 損害

私有林 167ha ※人的被害なし



足利市林野火災の概要

3. 消防機関の活動

(1) 足利市消防本部の活動と相互応援協定に基づく部隊増強

2月21日、火災を覚知した足利市消防本部は、市街地の消火栓から取水し、両崖山山頂付近の火元を北側から消火に当たりました。翌22日には、南側からもホースを延長して火元を挟み込む態勢をとり、到着した消防防災ヘリコプターや自衛隊ヘリコプターと連携して消火活動を行いました。

地上部隊では、23日の延焼拡大を踏まえ、24日には相互応援協定に基づく県内外からの応援（栃木県内11隊、群馬県内4隊）を得て、広大な延焼範囲を包囲する態勢を整え、住宅地への延焼阻止に当たりました。

足利市消防本部は延べ1,015人、足利市消防団は延べ331人が消火活動に当たりました。

航空部隊では、栃木県の消防防災ヘリコプターに加え、2月22日には茨城県と埼玉県消防防災ヘリコプターが、栃木県との航空消防防災相互応援協定に基づき消火活動に当たりました。

(2) 広域航空消防応援による活動

強風により火勢が拡大した2月24日には、栃木県知事からの要請を受け、消防庁長官が広域航空消防防



援の要請を都道府県知事に対して行い、前日から活動していた茨城県と埼玉県に加え、山梨県、横浜市消防局、宮城県の消防防災ヘリコプターが空中消火活動に当たりました。

また、現場における消火活動の指揮や、応援部隊の受け入れを支援するため、群馬県と福島県の消防防災航空隊が航空指揮支援活動を行いました。



活動拠点の様子（横浜市消防局提供）

(3) 緊急消防援助隊

翌25日には、更に火勢が拡大したことから、栃木県知事からの要請を受けた消防庁長官の緊急消防援助隊出動の求めにより、被災地における円滑な消火活動を支援するため、東京消防庁の統括指揮支援隊が活動を行いました。

航空部隊では、東京消防庁と富山県の消防防災ヘリコプターが新たに活動に加わり、合計7機の消防防災ヘリコプターにより、一日最大6機での空中消火活動と情報収集活動が行われました。

足利市林野火災における空中消火では、2月21日から3月1日までの間、栃木県消防防災ヘリコプターのほか、応援に駆けつけた県外の消防防災ヘリコプター7機により、合計30万7,910リットル（626回）の散水が行われました。



東京消防庁ヘリコプター空中消火活動
（横浜市消防局提供）

4. 関係機関との連携

足利市林野火災では、災害派遣要請を受けた自衛隊とも連携し、消火活動を行いました。

2月22日、栃木県は自衛隊に空中消火にかかる災害派遣要請を行い、2月22日から3月1日までの間、ヘリコプター部隊（最大でCH-47 8機態勢）により200万5,000リットル（401回）の散水が行われました。

5. 「より効果的な林野火災の消火に関する検討会」の開催

この火災は、出火から鎮火まで時間を要したことや、住宅街の近くまで延焼が広がり、市内住民に避難勧告が出されたこともあり、全国的に注目を集めました。

消防庁ではこの火災を契機に、令和3年度から「より効果的な林野火災の消火に関する検討会」を開催し、林野火災における応援要請のタイミングや指揮体制の早期確立、陸上部隊・航空部隊との情報共有方法、活動時間・場所の区分けによる連携方法等の検討を行い、今後のより効果的な林野火災の消火活動等に役立てていくこととしています。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室
TEL: 03-5253-7527（直通）